

ほなみ



● わが家のアイドル ●

鳥海善^{ぜん}くん(4歳)・飛羽^{とわ}くん(1歳)

「ほなみ」
表紙モデル
大募集中!!

(組合員ご家族に限ります)

お問い合わせは総務課まで

7

July 2025

Vol.662

『わが家のアイドル』7月号の表紙を飾ってくれたのは、長須賀在住、鳥海博司さんのお子さんの善くんと飛羽くんの兄弟。お兄ちゃんの善くんはおとなしく、飛羽くんは、やんちゃ!!と対照的な性格の二人ですが、とても仲良し。善くんと飛羽くんのパパはとっても優しく、家族みんなのヒーローなんだそうです。普段より、ご近所のみなさんが二人をとても可愛がり、当日も撮影の応援に駆けつけ、二人を和ませてくれたりと協力してくださいました。

おばあちゃん、ご両親ともに「事故なく、けがなく、健康で元気に育ってくればそれがなによりです。」と話してくれました。



とうもろこし出荷査定会



▲見事なとうもろこし



▲現品査定の様子

5月26日、木更津市園芸出荷組合は中郷経済センターにおいて、生産者並びに市場関係者・君津農業事務所・全農千葉県本部担当者・JA職員らが参加し、とうもろこしの出荷査定会を行いました。

3月の低温・曇天の影響から生育に遅れがみられたものの、その後は徐々に回復。現品査定で市場関係者からは「適期収穫で鮮度、規格も良く、とても瑞々しい!木更津産とうもろこしを待っています。」と、高く評価され、また「売り場の拡大、有利販売にも繋げるため、今後もJAを通じ情報の提供、選果選別の徹底をお願いします」と呼びかけました。

農業事務所担当者からは、「病害虫による大きな被害はみられませんが、引き続き管理の徹底をお願いします。」と話され、鳥獣害対策の説明もありました。

中郷小とうもろこし定植指導



▲定植指導の様子



5月29日、JA木更津市営農推進課職員と神谷農園の神谷正美さん指導のもと、木更津市立中郷小学校6年生がとうもろこし(プレミアム味来85)の定植を行いました。

当日植えた苗は、5月8日に児童らが種まきをし、生長したもので、定植の日まで毎日水やりの管理や生育を観察してきました。

最初にJA職員から、定植のポイント等お手本を見せながら説明があり、その後児童らは約1,000本の苗を中郷地区まちづくり協議会の方たちと一緒に植えました。

定植後、児童らからは、強風対策やマルチの必要性等、疑問に思ったことなど、多くの質問があり、JA職員、神谷さんの話を熱心に聞いていました。



NEWS できごと

とうもろこし出荷査定会 / 中郷小学校「とうもろこし」定植指導

2

ブルーベリー出荷査定会

令和7年度稲作研究会中間検討会

令和7年度新米予約注文開始のお知らせ

支部長会議並びに健康管理推進委員会支部会議

冷凍ブルーベリー販売開始のお知らせ

秋の農機整備・安全講習会開催のお知らせ

特集

令和7年度木更津市農業施策に関する要望書について(回答)

5

えいご

水稲栽培について

8

千葉県肥料価格高騰緊急支援事業について

包装・荷造り方法について

情報

祭司事業のご案内 / シャッターの修理・電動化のご案内

10

水稲無人ヘリ航空防除日程 / 農業用廃プラスチック回収のお知らせ

増資について / 職員の動き / 職員募集のお知らせ

理事会報告 / 主な行事予定

JAPICER

年金無料相談会 / 定期貯金キャンペーン

12

車検キャンペーン / マイカーローンキャンペーン

あしがき

ブルーベリー出荷査定会



◀ 鶴岡静治
部会長



JA木更津市ブルーベリー部会は、6月2日、富来田支店において、生産者・出荷市場4社・君津農業事務所・JA職員ら42名参加のもと、出荷査定会・販売会議を開催しました。

鶴岡静治部会長は、沢山の生産者の方々の出席に喜びと感謝の意を述べられるとともに、引き続き品質の向上を目指し、選果・選別の徹底を呼びかけました。

市場関係者からは「木更津産ブルーベリーは品質が良く、高い評価を受けています。有利販売できるよう、適期収穫のうえ、安定出荷・情報の提供をお願いします。」と呼びかけがありました。

なお、ブルーベリー部会の皆さんが収穫したブルーベリーを使用したパンが山崎製パン株より販売されるなど、様々な用途で使用され、大好評を頂いております。



▲ 現品査定の様子

稲作研究会中間検討会



6月13日、木更津市農協稲作研究会はサナテックシード株の川崎氏、全農ちばの名雪氏を講師に招き生産者13名、木更津市、木更津市農協等関係機関9名の合計24名が参加し管内6圃場を巡回しました。慣行コシヒカリを始め、有機コシヒカリ(学校給食米)、また粒すけの生育状況等の確認を行いました。

圃場巡回終了後、川崎氏より高温障害における肥料吸収についてや今後の管理について説明があり、名雪氏からは、カメムシについての防除適期や対策、来年に向けてアオミドロの発生条件等の説明がありました。



稲作研究会役員の佐藤氏から「高温障害対策やカメムシ防除を行い、品質の良いお米を作っていきましょう!」と決意表明がありました。

5/19(月)~
受付中!

令和7年度 木更津産新米予約開始!!

木更津ブランド米など
地元産の新米を揃えました!

お届けは8月以降を予定 玄米も予約承ります

木更津
郷のひかり
(コシヒカリ)

太陽の光を
十分に浴びた
美味しいお米

● 木更津ふさおとめ 木更津産

● 木更津ふさこがね 粒が大きくふっくらとした
炊き上がり

お問い合わせ・ご予約

木更津
うまくと米
(コシヒカリ)

きれいな水で
育てた
美味しいお米

● 木更津コシヒカリ 木更津産

● 木更津粒すけ 粒が大きく白く光沢に優れ、
程良い粘りと弾力がある

生活購買課 ☎23-8022

令和7年度 支部長会長・副会長決定

支部長会議・健康管理推進委員会支部会議開催

6月5日・6日の2日間にわたり、本店大会議室、富来田公民館の2会場において、支部長会議並びに健康管理推進委員会支部会議を開催しました。

会議冒頭石渡肇組合長は、日頃からの協力に感謝の意を述べたあと、皆さまの健康を願い、より多くの方が受診されるよう薦めました。その後、職員より健康調査受診の案内、引き続き支部長会議では、農協の事業・

計画の報告、規約、肥料価格高騰緊急支援事業の案内説明がありました。

本年度の支部長会長・副会長は次の通りです。

○支部長会長・副会長紹介【敬称略】

金 田	会 長	高品 佳文 (畔戸)	清 川	会 長	中村 幹夫 (中尾第二)	波 岡	会 長	磯部 実 (畑沢下部)
	副会長	石渡 和美 (高須)		副会長	鳥海 祐美 (椿)		副会長	鈴木 雅之 (上島上部)
	副会長	高橋 勇 (中野)		副会長	庄司 敦 (犬成第一)		副会長	苅込 孝 (上島下部)
岩 根	会 長	鈴木 義信 (中里)	真 船	会 長	高橋 一夫 (桜井第二)	中 郷	会 長	相川 幸雄 (上望陀)
	副会長	山口 千尋 (西山第一)		副会長	今城 進 (馬船谷)		副会長	佐久間一美 (十日市場)
	副会長	近藤 昭二 (大崎第一)		副会長	地曳 勉 (太田下部)		副会長	高橋 武 (曾根)
中 央 清見台	会 長	小籠 吉雄 (長須賀南)	鎌 足	会 長	谷中 淑浩 (三区下部)	富来田	会 長	柴崎 義成 (石川原)
	副会長	鈴木 貞夫 (吾妻第一)		副会長	見渡 泰夫 (二区)		副会長	宮野 辰美 (七曲第三)
	副会長	鈴木 悟 (祇園)		副会長	安西 宣之 (五区)		副会長	實方 美和 (五郷)
						下 郡	会 長	鈴木修一郎 (湯名)
							副会長	大河 晃蔵 (田川)
							副会長	鈴木 卓 (石沢)



▲支部長会議の様子

秋の農機整備 安全講習会

開催のお知らせ

農作業事故ゼロ運動展開中!

コンバイン他の安全操作・点検ポイントなど
わかりやすく講習いたします!

※VRゴーグルによる農作業事故疑似体験も
予定しています

令和7年

7月18日(金)

16:00~

場所：富来田農機センター

お問い合わせ

中郷農機センター ☎98-0279

富来田農機センター ☎53-3311

木更津産 冷凍ブルーベリー 販売中!!

JA木更津市ではブルーベリー部会の生産者
が収穫した冷凍ブルーベリーを販売して
おります。ジャムやジュース、お菓子など使
い方は色々!!



販売価格：1kg 1,500円(税込)

中郷・富来田経済センターにて販売中!!

お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ 営農推進課 ☎98-0321
中郷経済センター ☎98-6681
富来田経済センター ☎53-5313

木更津市より

令和7年度「木更津市農業施策に関する要望書」について

回答

令和6年10月9日、当JAは木更津市に対し「令和7年度木更津市農業施策に関する要望書」を提出しました。全8項目の要望事項について、この度木更津市より回答がありましたので「報告」します。

要望事項と回答

1 木更津産農畜産物販売施設の設置について

本市は、東京湾アクアラインをはじめ、広域幹線道路網の整備進展により、観光集客施設が金田地区に数多く進出しており、特に休日の集客力が高いことから木更津産農畜産物を販売、PRする拠点として最適であると考えます。そこでアクアライン着岸地周辺の農業振興地域農用地を含めた設置可能用地の斡旋をいたたく共に販売施設及び公共トイレの設置について引き続き当組合と協働し御尽力いただきたく要望いたします。

当JAでは、木更津産米の新米予約キャンペーンとして、毎年全職員による販売促進活動を行っております。

また、園芸作物については、当JAの生活館本店及び生活館うまぐた店をはじめ、市内の大手スーパー内に産地直売コーナーを設置していただき販売強化に努めております。

そのような中、本市の基幹作物である「米」は、全国有数の早場米産地として、県内外の消費者に向けていち早く販売されております。

また、食味についても令和元年度に当地で開催された「第21回米食味分析鑑定コンクール・国際大会」において、木更津産米が千葉県初となる金賞を受賞するなど全国的にも高い評価を得ているところで、更に令和元年からスタートした有機米の栽培面積も毎年拡大しております市内公立小中学校に提供している「ぎさら」が学校給食米もブランド化への取り組み強化として全国にPRすることが重要であります。

そこで、都心に近い田舎という地理的特性を活かしたアクアライン着岸地周辺での木更津産米及び園芸作物など、木更津産品を販売、PRするための施設の設置について御尽力いただきたく要望いたします。

【回答】本市の基幹作物である、米づくりを取り巻く環境は、近年続く猛暑の影響により、高品質な米の収量が減少したことやインバウンド需要増加などにより、米価は上昇しているところ

でございます。しかしながら、米価の上昇分が農業者に行き渡らなればかりか、農業者の高齢化・担い手不足、有害鳥獣被害の深刻化に加え、物価高騰による生産コストの高騰など、依然として厳しい状況は続いております。

持続可能な地域農業の発展と安定を目指す取組として、米の付加価値向上や消費拡大に寄与することを目的に、「木更津産米」食味分析コンクールを引き続き開催するとともに、学校給食へ提供するなど、農業の振興に努めているところでございます。開拓するなど、農業の振興に努めているところでございます。

更に、市ホームページやSNSを活用して地元農林水産物のPRを図るなど、情報発信にも取り組んでまいります。

ご要望の「アクアライン着岸地周辺の農業振興地域農用地を含めた設置可能用地の斡旋をいたたく」とともに、販売施設及び公共トイレの設置につきましては、設置希望箇所や販売施設の具体的な計画などがございましたらご相談いただき、市として協力できる支援について、研究してまいります。

2 農業支援センターの設置について

近年の農業を取り巻く環境は、地域農業が抱えている多くの諸問題をはじめ、「SDGs」や「みどりの食料システム戦略」など国際的な環境意識の高まりから、環境負荷低減対策への取り組みも重要となっております。また、農業の生産基盤強化に向けて必要な農地を確保し、新規就農者の育成・支援、確保までの総合的な支援体制を構築するため、県市、JA等が連携しワンストップで行なう相談窓口の実現に向けて、早期に農業支援センターを設置されるよう要望いたします。

日頃より農業振興を図るため、当組合と協働し農業者への支援に御尽力をいただき感謝申し上げます。

当JAでは、令和5年7月に営農部営農支援課を新たに設置し、担い手の支援策として、農作業受託事業の強化に加えて農業職業無料紹介所を通じた人材支援や食の安全・安心産地づくりの推進強化に努めているところであります。

今後、次世代の担い手となる新規就農者が育成されなければ、新

な農業の展開や農用地の維持管理は勿論、農業にかかる環境保全などが困難となり、地域全体の活力が失われることとなります。このような状況の中で、本市農業を維持・発展させていくためには、その原動力となり得る担い手が必要であります。

ついでには、広く人材を集め育成するための支援施設として、農業支援センターの設置を要望いたします。

【回答】令和6年産の米価は上昇したものの、燃料・資材費の高騰や、農業者の高齢化や担い手不足による耕作放棄地の増加など、依然として農業を取り巻く環境は厳しさを増しているものと認識しております。特に、農業者の担い手の確保については、喫緊の課題であり、これまでも「経営開始資金」や「経営発展事業」などにより新規就農者を支援してまいりましたが、更なる対策を講ずる必要があると考えております。

その一つの施策として、農業に関する相談窓口や、新規就農者の確保・育成に係る業務、環境保全型農業の指導・支援に係る業務など、総合的な農業者支援を行う農業支援センターについて、令和8年度設置を目指しているところでございます。

現在、JA木更津市をはじめ農業関係機関等と農業支援センターの設置に向け、検討会から準備会に移行し、進めさせていただけども、センター設置にあたりましては、JA木更津市との連携が不可欠でございますので、引き続きご協力いただきたくお願い申し上げます。

3 「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業にかかる市単独の補助事業の実施について

農業生産の総合的な振興を図るため、規模拡大に必要な省力化機械等の導入、高収量・高品質を実現するための施設化や環境整備、既存施設のリフォーム、施設及び露地におけるスマート農業機械・装置等の導入を支援するため、補助対象事業費の補助残額に対する市単独の補助事業の実施について要望いたします。

本市の農業従事者は減少し高齢化も進み、生産基盤の弱体化が危惧されている中で、農作業の効率化が急務となっております。

また、国も先端機器の導入を促すため「スマート農業技術活用促進法」を令和6年10月に施行し、省力化や生産性の向上に役立つ新たな設備投資を融資と税制の両面から支援することとなりました。

当JAでは、低コストで生産性の高い農業経営を実現するため、スマート農業技術を活用した省力化栽培技術や高性能機械の導入に向けた提案型推進に努めております。

そのような中で、県の補助制度である「輝け！ちばの園芸次世代産地整備支援事業の「生産力強化支援型」、「園芸施設リフォーム支援型」、「スマート農業支援型」の補助対象事業について、袖ヶ浦市が補助

対象事業費の補助残額の35%以内(ただし、県補助額と同額以内)、君津市が補助対象事業費の10%以内の補助制度を実施しておりますが、本市においてそのような制度は実施されておりません。

このことから農業者の事業費負担軽減を図るため、隣市と同様に補助対象としていただくよう要望いたします。

【回答】本市におきましても、農業者の高齢化や担い手不足が深刻な問題となっており、作業の効率化や農業者の負担軽減、農作物の品質向上に繋がるスマート農業技術の導入は、これらの課題を解決するために、非常に有効なものであると認識しております。

「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業の「生産力強化支援型」、「園芸施設リフォーム支援型」、「スマート農業支援型」の県補助対象事業費のうち、補助残額に対する市の上乗せ補助の実施につきましては、現状難しい状況にございます。しかしながら、担い手農業者の負担軽減に繋がるものであり、今後関係機関と連携し、調整を図ってまいります。

4 米の需給調整対策について

新型コロナウイルスの自粛緩和を背景に業務用では、インバウンドなどの人流の回復により消費が上昇し、家庭向けでは、物価高騰で食品が全般的に値上がりする中で米の需要は前年を上回るペースが続いております。また、令和5年度産米の高湿障害による品質低下のため歩留まり率が悪化し、米の在庫数量が減少したことで令和6年度産米価格は上昇しました。これにより、飼料用米から主食用米への揺り戻しが懸念され、再び米価の下落を招く可能性もあることから、引き続き需要に応じた生産の実現と米生産者の所得安定に資するため、水田活用直接支払交付金における戦略作物助成と併せて市単独の補助金について加算措置を要望いたします。

市として、米生産者の所得安定のため、令和4年度から「新規需要米拡大事業補助金」として、1,000円/10aを上限として補助を実施していただいていることに感謝を申し上げます。

当JAでは、木更津市地域農業再生協議会との連携を図りながら経営所得安定対策等交付金を有効活用するため、産米出荷契約と併せて戦略作物助成の交付申請手続きを行い、令和6年度産飼料用米の契約数量4,568俵、加工用米の契約数量3,231俵の受付を行いました。

しかしながら、水田活用米穀の契約数量は昨年対比7,744俵の減少をしており、令和6年度から専用品種以外での飼料用米に対する助成金の段階的な引き下げ措置や、米の消費拡大による米価の上昇などが要因に挙げられます。

来年度以降も米価の先高観が広がる一方で、転作から主食用米への過剰な揺り戻しにより堅調な米価を再び押し下げることの無いよう、

引き続き需要に応じた主食用米の生産に取り組みする必要があります。今後も農業者の所得安定と生産コストに見合った価格水準が維持されるよう、市単独の補助金について加算措置を要望いたします。

【回答】主食用米におきましては、インバウンド需要の増加、民間在庫量の減少を背景に令和6年度産米価格が急騰し、生産者にとっては喜ばしいことである反面、米価の急激な変動は生産者の経営安定を損なうものでもあり、引き続き米の需給調整を図る施策が求められております。

国では、主食用米の一般品種を飼料用米として出荷する場合の助成額を段階的に減らす方針を取っており、更なる非主食用米への転換及び定着を進めているほか、米の輸出拡大を重点課題として位置づけるなど、米をめぐる政策は大きな転換期となっております。

本市では、国、県と協調して稲作農家の経営安定に向け、飼料用米や米粉用米などへの作付転換に取り組み農業者に対し、「水田活用の直接支払交付金」や「新規需要米拡大事業補助金」等の支援策を講じております。令和7年度におきましても「新規需要米拡大事業補助金」にて、引き続き市独自で10アールあたり1千円を上限として上乗せ補助を実施してまいります。

ご要望のありました上乗せ補助の加算措置につきましては、現状難しい状況にございます。今後も需要に応じた生産の転換により、水田農業全体の所得の安定等に資するよう、国・県へ要望するとともに連携して施策に取り組んでまいります。

5 有害鳥獣被害対策について

有害鳥獣による農産物被害等は、中山間地帯を中心に平坦地にまで及び、被害範囲は近年急激に拡大しており、農業者の生産意欲を減退させ、耕作放棄地の一層の拡大が懸念されているところであります。

現在、木更津市有害鳥獣被害防止対策事業補助金として、電気柵やワイヤーメッシュ柵など被害防止施設設置費用及び捕獲器具購入費用の50%、最大1,750,000円が補助されており、農作物被害額の増加に伴い補助対象事業費も増加していることから、補助額を増額していただけるよう要望いたします。

市として、有害鳥獣被害防止対策事業と併せて狩猟免許取得促進事業により各種の補助を実施していただいていることに感謝を申し上げます。

当JAでは、増加する被害と組合員からのニーズに対応するため、有害鳥獣対策係として担当者3名を配置し、圃場の状態、生産者の考え、地域の問題など総合的に被害を捉え、駆除や環境整備も含めた対策の提案と支援に取り組んでおります。

近年、イノシシをはじめシカ、キョン、アラライグマ等により農作物の被害が広範囲に及び、防護柵等の設置に要する費用も高額となっております。

農業者個々の費用負担額に対する補助額が50%を下回るケースも発生していることから、現行の木更津市有害鳥獣被害防止対策事業補助金の増額について要望いたします。

【回答】防護柵等の被害に対する「侵入防止」の対策につきましては、「捕獲・駆除」「環境管理」と併せて被害対策の3つの柱として位置づけられており、非常に重要なものであると認識しております。

令和5年度にイノシシの捕獲頭数が過去最高を記録するなど、「捕獲・駆除」は一定の成果をあげておりますが、農作物被害は依然として発生している状況にあり、農業者の生産意欲減退などが懸念されております。

本市で取り組む鳥獣被害防止対策のうち、防護柵等設置事業では、令和6年度から補助対象を電気柵・物理柵に加え、防鳥網まで拡大し、利便性の向上を図ったところでございます。

ご要望のありました、木更津市有害鳥獣被害防止対策事業補助金の予算枠の拡大につきましては、現状難しい面もございしますが、引き続き木更津市有害鳥獣対策協議会と連携しながら、農作物被害対策に取り組んでまいります。

6 環境保全対策について

(1)令和2年4月より農業用廃プラスチック処理料が44.5円/kg(税込)から89.6円/kg(税込)に値上げされたことにより、令和5年度における県市全農からの補助金控除後の生産者負担額が47.2円/kg(税込)と高額であります。園芸用廃プラスチックリサイクルの適正処理を進めるための処理対策推進事業にかかる助成措置として市の負担割合の更なる増額について要望いたします。

市として生産者の負担を軽減すべく、令和5年度から助成金を22.4円/kgに増額して実施していただいていることに感謝を申し上げます。

当JAでは、廃プラスチック処理量の削減や圃場における作業の効率化を図るため、生分解性マルチフィルムの導入を推進しておりますが、一般のマルチフィルムと比較して購入費用が約3倍となるため、排出量の削減に繋がっていないのが現状です。

また、一般マルチを含めた農業用廃プラスチックの一斉回収を毎年3回実施し、回収毎に東金市内のリサイクル処理施設まで運搬してまいります。

農業用廃プラスチック処理料は、平成29年末をもって中国政府による廃プラスチック輸入禁止措置が施行されたことから国内における処理費用が高騰し、それに伴い生産者の負担額も急激に増加しております。

令和5年度からの補助額は、市として増額をさせていただいたものの、千葉県10.0円/kgと全農千葉県本部10.0円/kgは従前そのまま据置かれており、依然として生産者の負担額は、47.2円/kgと高額であります。

また、昨年度の袖ヶ浦市における補助額は28.0円/kgですが、富津市においては補助額が69.6円/kgであり、生産者の実質負担額は発生していませんので、引き続き市の負担割合の増額について要望いたします。

【回答】本市では、農業用廃プラスチックの適正処理を推進するため、千葉県廃プラスチック協議会を通じ、県および全農と協調して処理費用の一部助成を実施しております。

令和2年4月の処理料金改定以降、生産者の負担が増加していることを重要な課題として捉え、令和4年度から助成額を10.0円/kgから15.0円/kgへさらに令和5年度からは22.4円/kgへと段階的に増額してまいりました。

また、環境保全対策として、農業用廃プラスチック処理料の助成と併せて生分解性マルチフィルムの購入費助成を実施しており、ご要望のありました助成額の更なる増額につきましては、現状難しい状況にございます。

今後も、県および全農と連携を図りながら、農業用廃プラスチックの適正処理が確実に実施されるよう継続的な支援に努めてまいります。

(2)生分解性マルチフィルム(崩壊マルチ)を使用することで、生産者の作業の効率化や省力化が図られますが、価格面においては一般マルチフィルムの約3倍であり、生産者の費用負担が大きく、使用し難いのが現状であります。今後、当該マルチフィルムの普及拡大によって、環境保全にも寄与する事となりますので、現在の補助額(購入価格×20%)の増額について要望いたします。

現在の園芸作物の栽培においてはマルチフィルムが広く普及しており、生育促進や除草作業の軽減などに高い効果を発揮しております。

また、一方で原料にビニールやポリを使用していることからマイクロプラスチック問題や野焼き処分による大気汚染にも大きな影響が考えられ、世界的にもSDGsへの関心が高まる中で、環境保全対策への意識は欠かせないものとなっております。

今後、生分解性マルチフィルムの使用率が向上することで、労働力の軽減や環境汚染対策にも高い効果があると考えられますので、補助額の増額について要望いたします。

【回答】廃プラスチックの処理は国際的な問題となっており、これまで廃プラスチックの処理を受け入れたアジア諸国でも、輸入制限を行う国が増えております。

生分解性マルチフィルムは、プラスチックの排出抑制に繋がるだけでなく、作物収穫後ははぎ取り・回収作業が不要となり、農作業の効率化にも寄与することから、本市においては購入経費の20%を補助してまいりましたが、令和7年度からは補助率を40%に拡大し助成しているところでございます。

今後も、生分解性マルチフィルムの普及に向け、継続的な支援に努めてまいります。

7 改正農業経営基盤強化促進法 (令和5年4月施行)に伴う「地域計画」の取り組みについて

今後、農業者の減少や耕作放棄地の拡大により、農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地の円滑な継承に向けて将来の地域の受け手を重点的に支援すると共に、来年度より原則として地域計画に紐付けされる多種補助事業について、全ての農業者が平等に享受できるよう引き続き積極的な説明会の開催と地域との話し合いに基づいた「地域計画」を支援されるよう要望いたします。

令和5年度より改正農業経営基盤強化促進法の施行に伴い、令和7年3月までの策定に向けて御尽力をいただき誠にありがとうございます。

現在、農地の円滑な継承に向けて集落ごとに将来の農地の利用方針をまとめるため、昨年4月より市農業委員会、農業事務所、JAなどが連携して「地域計画」の策定についての説明会や話し合いを集落毎に実施されているところでありますが、農水省は令和7年度から地域計画に紐付ける補助事業を大きく増やすこととなり、事業を利用するためには、10年後の地域の農地の耕作者に位置付けられていることが事業要件となります。

現状においては、まだまだ農業者や農地所有者の理解が得られておらず、本市はもとより、全国的にも策定が進んでいないのが現状であり、将来的に補助事業が利用できない農業者が出ないように引き続き「地域計画」の策定を支援されるよう要望いたします。

【回答】高齢化や担い手不足などの要因により遊休農地は増加傾向にあります。このような中、農地の適切な利用と継承を進めるためには、担い手の確保と農地の集約化が重要であり、地域ごとの農地利用の将来像を示す「地域計画」の策定が必要であります。本市におきましても、昨年度から説明会の開催や話し合いを進めてまいりましたが、地域計画の策定までは十分に進んでいない現状にあります。

引き続き、地域の皆様のご意向を丁寧に向いながら、早期の計画策定を目指してまいりますので、今後とも、JA木更津市をはじめとする関係機関のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

8 食育推進活動について

木更津市の特産品である米・野菜・果樹等の農畜産物について、学校給食の食材として活用することにより「食の安全・安心」・「木産木消」などへの関心を促し、食育推進に繋がるよう市民・消費者に対するPR強化について要望いたします。

市として、平成28年度に「木更津産米を食べよう条例」の制定により、

日頃より米の生産及び供給、販売及び利用、食育推進に御尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

当JAでは、地域の小学生を対象とした農業体験実習の一環として、地元生産者や農業委員と協力しながら「とうもろこし」や「水稲」の作付けから収穫までの取り組みをサポートしております。

市の特産品を収穫体験すること併せて学校給食の食材として活用することにより、児童・生徒やその家族である市民と生産者である農業者が「食の安全・安心」・「木産木消」など、同じ意識を持ち相互に理解を深めながら食育推進が図られるよう引き続き要望いたします。

【回答】環境に配慮した食生活の推進や学校給食における地産地消の推進、家庭・地域・学校が連携した木更津ならではの食農教育の推進など、持続可能な社会の実現に向けた総合的な食育推進計画として、令和4年3月に「木更津市食育推進計画」を、そして、実行計画であります「木更津市食育推進アクションプラン」を令和4年5月に策定し、食育を官民一体となり進めているところでございます。

食育推進の取組としましては、更なる食育の推進を図るため、親子料理教室や地元農産物を使った料理レシピコンテスト、さらさら「食育フェスタ」の開催、また、地元産農林水産物を積極的に取り扱う店舗を「木更津市地産地消推進店」として認定し消費拡大を図るなど、市民・消費者に向けてPRの強化に努めているところでございます。

また、市内小学校では、食農教育の実施に向け取り組んでおり、令和6年度においては、JA木更津市の力をお借りして、真舟小学校敷地内に畑を開墾したことにより、食農教育の環境をより一層進めることができました。さらに、学校給食につきましては、主食のきざらつ学校給食の提供日数の拡大に取り組むとともに、副菜で使用する地域農産物の品目を増やしているところでございますので、JA木更津市からも農産物を提供いただけてますと、「生産者の顔の見える地産地消給食」の提供、家庭・地域・学校が連携した食育の推進に繋がるものと考えているところでございます。

このように、市では計画に基づき、庁内各課で食育推進に向けた活動を行っておりますが、食育を一層進めるためには、食育推進協議会の委員である、JA木更津市のご協力が不可欠でございますので、今後ともご理解の程宜しく申し上げます。



斑点米カメムシ類に注意して 品質の良いお米をつくりましょう！



令和7年

水稲栽培について

◎斑点米カメムシ類の防除適期(コシヒカリ)

【コシヒカリ】

※6月24日までの気象データを基にした予測となります。

移植日	出穂期	1回目散布(出穂期の3日後) 【成虫対象】	2回目(出穂期の15日後) 【幼虫対象】
4月10日	7月9日	7月12日	7月24日
4月20日	7月14日	7月17日	7月29日
4月30日	7月20日	7月23日	8月4日
5月10日	7月25日	7月28日	8月9日

オススメ!

らくらく散布!!
スタークル豆つぶ



Point!

- ①田面水表面を自己拡散して広がります!!
※湛水状態(3~5cm)での散布、また散布は田面全体に均一に行ってください。
- ②散布後4~5日間は水の出入りを止めて、7日間は落水・かけ流しをしないようにしましょう。
※深水は避けてください。
- ③藻類・表層はく離等の浮遊物が多い条件では拡散が不十分となり、効果不足が生じるため注意しましょう。
※周縁部からの散布は避け、ていねいに散布してください
- ④出穂後3~7日の散布をおすすめ。カメムシの繁殖源となる雑草等周囲にあると、カメムシ類の水田への侵入が多くなり、斑点米被害も多発しやすくなるので注意しましょう。
※草刈り等は出穂10日前までに行うようにしてください。

その他注目!



キラップ粒剤

斑点米カメムシ類に
対して高い防除効果!



スタークル粒剤

水に溶けやすい為、
深水には要注意!



プラントレパリダ粉剤DL

カメムシがいた場合
直接付着させます!

※キラップ、スタークルは散布後4~5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水及びかけ流しはしないで下さい。

千葉県肥料価格高騰緊急支援事業のご案内

～肥料価格高騰の影響を受けている農家の皆様を支援します～

千葉県では、肥料価格高騰の影響を受けている農業者の皆様に給付金を交付します。

●申請期間：令和7年6月2日(月)～令和7年8月15日(金)

●交付対象者：生産性向上に取り組む農業経営体
(自ら農産物の生産を行っており、農産物販売額が50万円以上の農業者が対象です。)

【主な要件】 ○千葉県内に住所を有する個人事業主又は千葉県内に主たる事業所を有する法人であること。
○申請日時点において、千葉県内で営農しており、引き続き千葉県内で営農する意思を有すること。等
※本給付金の詳細は、専用ウェブサイトでご確認ください。

●給付金額：肥料高騰額の1/2以内(上限10万円)

【申請額の算定方法】 申請は1回限りとし、10万円を上限に支援します。
(1,000円未満の端数がある場合は、これを切り捨てた額となります)

(令和6年の肥料費^{※1} — 令和3年の肥料費^{※2}) × 1/2以内
※1 直近の決算書における肥料費 ※2 令和3年の肥料費 = 令和6年の肥料費 × 0.77 (価格高騰率)

○令和6年途中から令和7年にかけて就農した認定新規就農者は、就農から1年を経過する日の前日又は令和7年6月30日のいずれか早い日までに発行された給付対象経費がわかる領収書等で算出。

○申請多数の場合は給付金の額が申請額より少なくなることがあります。

なお、申請額は次の式で計算できます。 令和6年度の肥料費 × 0.23 × 1/2

●申請窓口・相談など：千葉県肥料価格高騰緊急支援事務局

【特設ページ】 <https://jimukyoku.site/chiba/hiryoshien/>

☎ 0120-975-335 (平日 午前10時から午後7時まで) ※休業日：土・日・祝日



令和7年産米出荷者のみなさまへ

◎ 包装荷造り方法について ◎

きちんと包装荷造りされた米袋は、整った「はい付け」ができ、倉庫管理において安全に作業を行なえます。事故防止のため、ご協力をお願いいたします。



◇次の手順を参考にして正しい包装荷造りをしてください◇

(皆掛重量 30.6キログラムにしてください)



①

米を袋に詰めたら、検査証明欄を手前にして両端をつかみます。



②

袋の空気を抜き、手前(検査証明欄のある方)から袋の口を3回折ります。



③

3回目の折り線が、袋に引かれている緑色の横線に合うように折ります。



④

ひもを結ぶ際、緑色の縦線に沿って折り込みます。



⑤

ひもの根元で「真結び」にします。「縦結び」にならない様に注意します。



⑥

荷造り後、一旦袋を倒せば中身が均等になり、しっかりとした米袋になります。

君津地域 植物防疫協会

無人ヘリコプターによる 水稲防除日程のお知らせ

大切な主食であるお米を守り、実り豊かな秋を迎えるため、水稲の病害虫防除にご理解とご協力をお願いいたします。



●散布地区及び実施予定日

地区名	実施予定日
下望陀地区 大寺地区 椿地区	7月10日(木)
下郡地区 富来田地区	7月11日(金) 7月12日(土)
笹子地区 犬成地区 中尾地区	7月15日(火)

●実施時間 午前4時45分頃～午前11時頃まで

JA葬祭事業のご案内

～安心の料金と真心でお手伝いいたします～
下記の提携先斎場・ホールをご利用される場合は、まず当JAまでご連絡ください。

年中無休

24時間
受付中

直通電話/祭司課 ☎23-9400

提携先(順不同)

清見台ホール
青霄苑(岩根駅東口)
セレモニーイシイ
鹿島商店
久留里法輪閣
東清会館(袖ヶ浦市神納)
メープルホール横田
天昇閣岩根ホール

農業用廃プラスチック 回収します(有料)

(農業用ビニール・ポリエチレン)

回収日 令和7年7月23日(水)

■回収場所及び受付時間

- 中郷経済センター 9:00～11:00まで
- 富来田経済センター 13:30～14:30まで

処理代金は1kg当たり50円です。

(当日現金にてお支払い頂きます。)

搬入対象品目規格

- ①回収時に放射能濃度を個別に測定させて頂きます。
基準値(0.23マイクロシーベルト)以上の場合は受付できません。
- ②近年、廃ビニール等の搬入規格について守られていないものが散見されます。規格が守られていない場合、回収をお断りすることもありますので、何卒ご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。

分類	廃ビニールA	廃ビニールB	廃ポリ
対象品目	平成23年3月に廃除されていた塩化ビニールフィルム	廃ビニールA以外の塩化ビニールフィルム	ポリエチレンフィルム・農耕用・農PO(軟質系)肥料袋
洗浄	できるだけ原状を保持した状態で全体を洗う。 水洗いを基本とする。 ・すそ部分は切り離して水を使って洗う。	できるだけ、土などの付着物を除去する。 ・すそ部分は切り離して水を使って洗う。	土などの付着物を充分洗い落とす。
規格(高さ15cm程度まで)	つづら折り	同左または杭を利用したクルクル巻き	
結果	ハウスから取り外した検覆資材と同種類のものを組にする(マイカー線は不可)	ポリ・農ポリ又はマイカー線(ビニール不可)	

その他ポリエチレン系フィルムについては、ご相談ください。

詳しいお問い合わせは

- 営農推進課 ☎98-0321
- 中郷経済センター ☎98-6681
- 富来田経済センター ☎53-5313

シャッターの 修理 電動化



どのメーカーでもOK

ご相談ください

● お問い合わせ ●

生活課 特販係

☎25-8727



組合員のみなさまへ (増資について)

平成15年から取り組んでおります増資について、おかげさまで出資金は15億円余増加いたしました。これもひとえに組合員のみなさまの御理解の賜物と深く感謝申し上げます。

農協は、組合員によって設立された協同組織として、地域農業を振興し組合員が健康で豊かな生活を実現することを目的に様々な事業活動に取り組んでいます。

経営の健全化と自己資本の増強により財務・組織基盤の強化を図り、農協としての役割をさらに発揮するために、組合員のみなさまの一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

木更津市農業協同組合
代表理事組合長 石渡 肇

理事会報告

6月30日(月)本店大会議室

■議案

- (1) 令和7年度上半期決算方針について
- (2) 組合員の出資減口承認について
- (3) 役員賠償責任保険の継続加入について
- (4) 夏季賞与について

■連絡報告事項

- (1) 米穀情勢について
- (2) 令和7年産米出荷契約実績について
- (3) 令和7年産の高品質米買入価格加算対応について
- (4) 令和7年秋の農繁期営業について
- (5) 令和7年秋の農機整備・安全講習会の開催について
- (6) 5月末事業実績・収支状況について
- (7) 増資について
- (8) 支部長会議開催結果について

◆ 職員のうごき

退	職	● 令和7年6月1日付
氏名	旧任	
近藤 昭男	総務部長付(人事教育担当)(嘱託)	

▲ 正職員募集のお知らせ

JA木更津市では、令和8年3月新卒採用職員(卒業後3年以内の既卒者も可)、中途採用職員を募集中です。

募集要項・職種など、詳細は当組合ホームページ内の「採用情報」をご覧くださいか、総務部人事教育課(☎25-8722)へお気軽にお問い合わせください。

主な行事予定

- | | |
|---------|-------------|
| 7月15日 | 税務相談 |
| 16日~18日 | 集団検診 |
| 17日 | 法律相談 |
| 18日 | 秋農機・整備安全講習会 |
| 22日~23日 | 巡回人間ドッグ |
| 29日 | 理事会 |
| 8月2日 | 年金相談会(真船支店) |
| 5日 | 税務相談 |
| 7日 | 法律相談 |
| 11日 | 農繁期営業 |



大切な愛車をプロがしっかり点検・整備!

予約受付中!

車検はJAにおまかせ!

確かなプロの
目と技術

細やかな
サービス

安心価格



JA 車検

一日車検承ります

カード
決済OK

ご予約・ご相談などお気軽に
お問い合わせください

自動車係 ☎25-8713

愛車点検感謝デーも開催中!
オイル交換がお得です

毎月(祝日除く)

第2土曜

8:30~15:00

(軽自動車)

2,200円(税込)

(小型・普通自動車)

2,750円(税込)

※オイルは、当農協指定オイルを使用します。

年金無料相談会のご案内

真船支店

令和7年

8月2日(土)

午前9時~午後3時まで

社会保険労務士が、個別に
ご相談を承ります。(要予約)

ご予約・お問い合わせは

真船支店

☎36-1212

JAマイカー ローン

●お車のご購入・買い替えを検討中の方。

※新車・中古車・バイクの購入資金はもちろん購入時諸費用、運転免許証取得資金、カー用品のご購入資金もご利用出来ます。

●現在お借入れ中ローンのお借り換えを検討されている方。

【申込対象期間】 令和7年 5月 1日(木)
~ 令和7年 7月31日(木)

【ご融資利率】 **最大引下げ後金利【固定】**

年 1.20%

(保証料別)

【ご融資金額】 10万円以上 1,000万円以内

【ご融資期間】 15年以内

※金利の引き下げには所定の条件がございます。

お申込みに際しては所定の審査がございます。詳しくは、お近くの支店へお問い合わせください。

●お問い合わせは……木更津市農業協同組合
中央支店 23-8731 清川支店 98-0221 真船支店 36-1212
富田支店 53-5311 (お近くの支店窓口をご利用ください)

JA木更津市

定期貯金 キャンペーン

2025

2025年4/1(火)▶7/31(木)

キャンペーン定期貯金

期間1年

募集金額15億円

振込手数料キャッシュバック!

募集金額に達した時点で終了となる場合がございます。

ご資金を銀行等より当組合口座に振込み、キャンペーン定期をご契約いただいた方に、銀行等でお支払いになられた振込手数料をキャッシュバックいたします。

期間中に新たなご資金でキャンペーン定期を50万円以上ご契約いただいた方

	店頭表示金利+	4月1日現在の適用利率
組合員の方 (新規に加入される方を含む)	年0.325%	年0.60% (税引後) 年0.478%
組合員以外の方	年0.175%	年0.45% (税引後) 年0.358%
キャンペーン期間内に満期を迎える定期貯金に新規資金50万円以上増額される方	年0.125%	年0.40% (税引後) 年0.318%

※当JAに既にお預け入れいただいているご資金を出金し、再度ご入金いただいても対象となりませんのでご注意ください。

お預入時に組合員にご加入いただいた方も組合員金利を適用させていただきます!

※組合員加入には一定の要件がございますので詳しくは最寄りのJA木更津市本・支店へお問い合わせください。

申込み・お問い合わせは各支店または金融課まで

ほなみ — HONAMI

Vol.662 令和7年7月4日(金)発行

発行/木更津市農業協同組合総務部総務課

〒292-0054 千葉県木更津市長須賀382

TEL 0438-23-0501 FAX 0438-25-8715

ホームページアドレス <http://www.ja-kisarazu.or.jp/>

メールアドレス ja-kisarazu@jcom.home.ne.jp

六月に雨の雫を
 纏い、美しく咲き
 誇る紫陽花ですが、
 あまりに日差しが
 強まると、焼ける
 てしまったり、株
 もあり、なんでも
 とて可哀想に思
 います。夏の、更
 に暑くなり、残暑
 厳しいと、早々と
 怖いです。また、
 発生して、気象
 も激しそうです。
 万全にしよう、
 をなさらないで
 ください。

K.M